横濱方面

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

軍務局

軍務局長

横須賀鎮守府

横須賀海軍航空隊

横須賀海軍工作部

横須賀海軍建築部

横須賀海軍病院

横須賀海軍経理部

横須賀海軍砲術学校

横須賀海軍水雷学校

横須賀海軍通信学校

横須賀海軍航空技術廠

横須賀海軍工廠

横須賀海軍火薬廠

横須賀海軍燃料廠

横須賀海軍航空廠

横須賀海軍航空隊

横須賀海軍航空隊

横須賀海軍航空隊

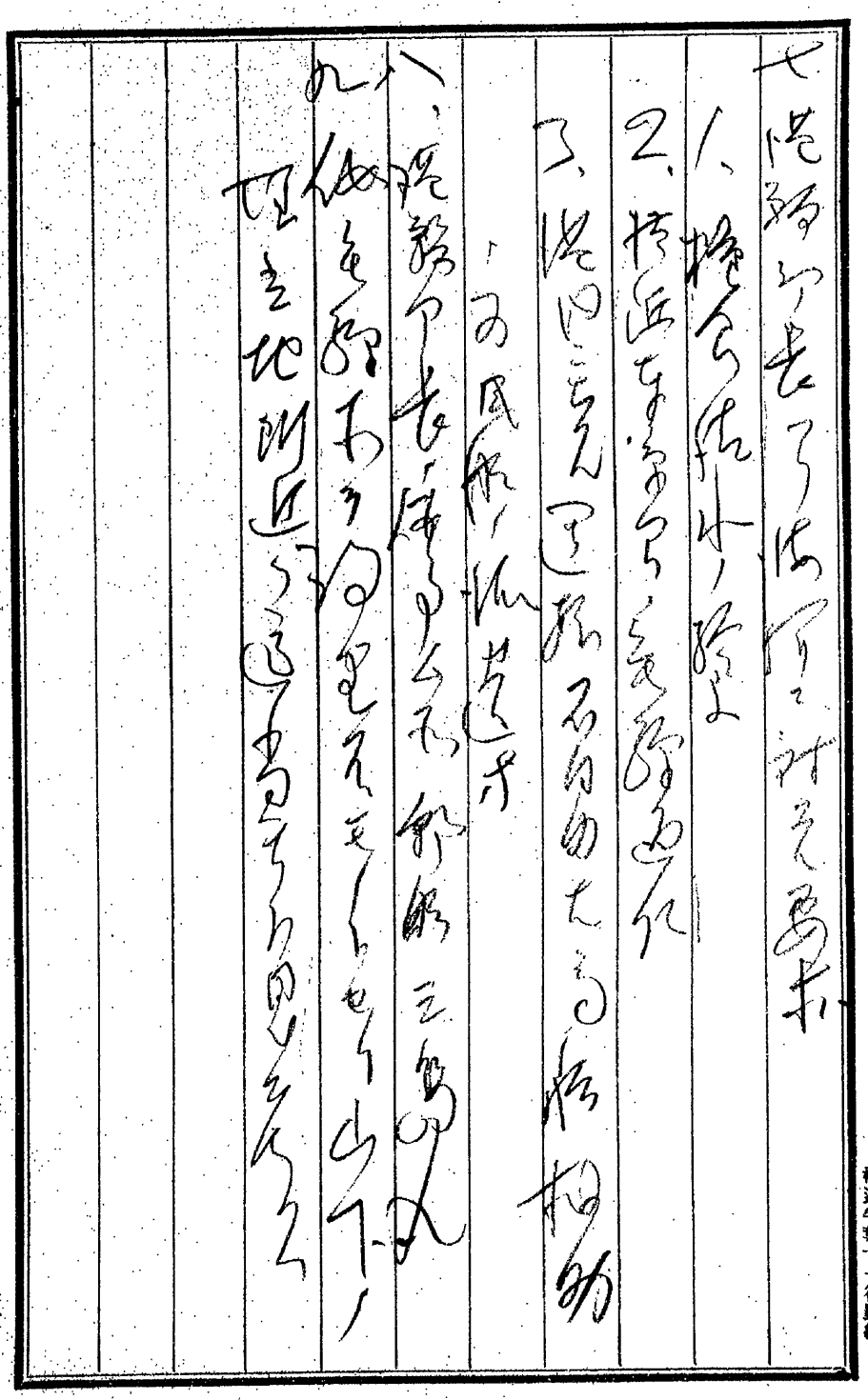
海軍

横造半紙十一行罫紙

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

横造甲第十一行罫紙

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/



海軍

横造半紙十一行罫紙

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

揚陸

一、揚陸地点ハ敵ノ防備ノ薄弱ナル地点ヲ選ビ奇襲ノ効果ヲ大ナラシムルヲ要ス

二、上陸ニ際シテハ敵ノ抵抗ヲ排除シ橋頭堡ヲ確保シ後続部隊ノ揚陸ヲ容易ナラシムルヲ要ス

三、揚陸ニ当リテハ敵ノ反撃ニ備エ海岸ニ近キ船舶ハ速ニ揚陸ヲ終リ遠キ船舶ハ揚陸中ニ於ケル損害ヲ少ナカラシムル如ク揚陸ノ順序ヲ定ム

次ノ一部ヲ第四ニ示ス一千名ヲ有スル一ヶ大隊ヲ以テ一部ヲ以テ

揚陸ヲ終リタル後ハ速ニ次ノ行動ニ移ルヲ要ス

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

海軍

横通中等十三行罫紙

1029

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

大正十年九月 日 午前/後 時 分 局發

日 午前/後 時 分 局著

發信者 山梨艦長

受信者 軍務局長

電報譯

其ノ形跡ナシ 厳命布カレテ以来泥棒ノ外見聞セズ尚取調ヘ報告ス

警務部長ニ関シ後日御答ヲ迂ル

海軍

1030

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

大正十七年 九月 日 午前後 時 分 局發

日 午前後 一〇時三〇分 局着

發信者 横浜市長

受信者 内閣総理大臣
内務大臣

電報譯

市内惨状今猶目モ當テラレズ、手不足ノ為メ
生活必需品ノ配給スラ手配ツカズ人心益々険
悪ニ陥リ且ツ衛生上油々敷心配アリ、
左記事項御含ノ上速カニ御手配御取
一、戒嚴令布施カシ軍隊ノ派遣ヲ得タルモ兵力不足
ノ為メ先ツ所在ニ出没シ市民ハ各自衛ノ為武
器ヲ携帯シ殺伐ノ氣全市ニ充ツ速カニ兵員
ノ増加ヲ乞フ

海軍

1031

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

二、食糧ハ便船ニテ續々入港スルモ上陸人夫船員人夫燃料不足ノ為メ陸揚ヲ二班ニ分チ極メ且ツ配給セラルベキ人夫困難甚シタシ

三、罹災所ノ建設ハ目下ノ急務ナルモ大工及用具無ク困難ヲ極ム

四、道路橋梁等全部破壊シタルモ人夫及ビ用具不足ニシテ應急復旧ニ工兵ノ援助ヲ仰キ度

五、現金皆無即送金ノ願フ

六、飲料水欠乏水道水向フ一週間位ニテ應急終了ナス見込

七、之ノ際可成多数他所ヘ罹災者ヲ送ルヲ得策ト思考ス依テ高濱及清水港ヘノ連絡

海軍

(明正印刷株)

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

即手配ヲ願フ

八、救護艦実連絡スヘキ電信ノ急設ヲ配慮
尚燈火ナク若痛尤モ多シ応急設備ヲ願フ

海軍

（明正堂用紙）

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

軍務局

大臣官房

海軍艦政本部

九山機関少佐殉職当時
横須賀船渠会社状況
地震ニ依ル倒壊後大火災ニ罹リタリ
造機部長ノ談ニヨレバ機械工場ハ
鍛工場一部ノ崩壊ヲ免レタリ
那河地震ニ三十度位傾キタル後火災ノ
為メ木材全部焼失シコノ為メ
憲兵隊員無事ニ逃ヰ書類全部焼失

海軍

(納届如)

1034

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

特務艦勝州

海軍省横浜仮設ニ関スル経過ノ概要書

勝州ハ横浜地方警備隊ノ全部ト共ニ午前
二時三十五分ノ発通信ニ依リ午前八時
三十分横浜ニ到着セル旨ノ報告ニ接シ
タルヲ以テ横浜ニ到着セル後ノ陸兵ノ指揮
ハ警備隊長ノ指揮ニ依ルコトトナリ
午前九時頃迄ニ重巡洋艦二隻、敷設艇二隻、
八時英艦ヨリ英兵ヲ揚陸セル外、午前
陸行ニ依リ四日中ニ到着ノ見込
以上ノ外帝国ニ在ル英艦一隻ト共ニ
ニ依リ実力ハ約三分ノ一減ノ見込

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

四、汽車隧道ノ山嶽部ヲ拔ケ下ノ山嶽ヲ二ケ
所ヨリ隧道ヲ以テ貫通シ市中ノ要所ヲ
俯瞰スルヲ以テ

五、市北ノ端ヨリ橋木町ニ至ルト云フ

六、市街ノ交通ハ道路阻塞ト難民ノ對スル
恐怖トノ為メ全ク杜絶ス

七、難民ハ二三ヶ所ニ集合シテ其ノ流言ヲ流布シ
ヲ始メ一般ニ不安ノ念ヲ抱カシメ

八、北倉庫ヨリ東ニ延ビテ橋梁ヲ架ス

九、市街ハ市役所、裁判所ノ一部ヲ殘シテ殆ト焼
失シ大工兵ノ如ク山ノ如ク殘レリ

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

岡部造船監督官報告

横浜船渠会社被害概況

地震ニ因ル損害　全壊セル建物船渠ノ場附近ニ於テ一ケ所屋根ノ陥落セルモノ造機部事務所共他傾斜セルモノ若干ニシテ建築物ハ比較的損害少ナシ船台上ニ在ル粒那珂ハ支柱ヲ押ハレ船木上ヲ右舷ニ滑リ艫ヲ加工中ナリシ進水固定台ニ依リテ支持セラルル状態ニ在リ

火災ニ因ル損害　火災ハ殆ト総テノモノヲ焼失セリト云フモ若シ先ツ船渠ノ場ノ倒壊家屋ヲ発火セルモノヲ初メトシ東方及北方ヨリ襲来セル火焔ハ事務所並現図場ヲ焼キ尚ホ各工場及ホレ遂ニ残存スルモノニ、鋳物ノ場ハ一部ニ、裏金工場ノ大部ニ、電気工場四、農機工場五、鋸鉋工場ノ一部ニシテ其ノ他ハ木部ハ一切焼却セラレ那珂其ノ他ハ

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

台上ヲ建造中ノ船皆支柱盤木ヲ焼カレ船各上ニ安坐シ
居船底ハ不平均ノ圧力ヲ受ケ凹凸ヲ生ス官給タルビンハ幸
ニシテ衰損ニ物ム人衆生ニ物附近ニ在リシヲ以テ安全ナルヲ得
タリ

右小官ノ目撃セル処又同会社東條常務参師役ノ談ヲ綜
合セルモノナリ

（終）

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

供覧

大正十三年九月七日　　所団事参副参謀

一、視察期日　自大正十三年九月一日至同月十日

二、視察事項及其概況

(一)満蒙諸政権概況（満蒙国境六ヶ所参照）

イ、北満、東北満ハ殆ンド全部低湿地ニシテ雨季ニ於ケル交通ハ殆ンド不可能ニシテ冬季ニ於テモ交通ハ困難ナリ

ロ、西北満ハ東方ニ突出セル（所謂洮索機構）機構ハ根本ヲ絶ツト全部破壊セラルル虞アリ

ハ、一ヶ月一ニ号岸壁ハ殆ンド全部破壊使用不能但シ号

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

二、主要民衆ノ避難場陸橋数個ハ全部使用不能ト
(二)公ノ施設ニ於テ陸上ニ得ル所ノ物ハ之ヲ
イ、校舎ニ及南側小橋附近
低地ノ艀或ハ艀及ライター
ヘ運搬セラルルコトヲ
ロ、九号岸壁
多ク通路ノ整理スレハ大岡川迄車ヲ通スルコトヲ
(郵船社ヘ入渠後)
ハ、校舎艀埠ノ岸壁突端
陸上ニ場ノ破壊セラレタルモノ車ヲ通スルコトヲ
(三)港務部
港外碇泊ノ「コレヤ丸」ヲシテ必要ニ応ジ事務ヲ掌
理ス

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

(四) 陸戦隊本部

前記山下橋附近

本牧其ノ他ノ方面ニ糧食ヲ配給スル

(五) 警衛其ノ他

イ 県庁廳其ノ他ノ機関ハ櫻木町驛附近ニ在リテ諸般ノ整理ニ任スルモ未タ其ノ効果認ムヘキモノナシ

(陸軍戒嚴司令部ハ以上ノ附近ニ在ルヲ以テ陸戦隊本部ト県庁廳假事務所附近トノ通信ハ公用使ニ依ル以上ノ為速ニ電話ノ架設ヲ必要ト認ム

ハ 歩兵約一個聯隊到着警衛スルモ兵力少クシテ生糸業者ノ保安ニ任スルニ足ラス速カニ増

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

兵ヲ必要トス

所見左ノ如シ

(ハ)、海上交通ノ管制

イ、出入船舶臨検特ニ入港船舶ニ對シ武器彈藥其ノ他危險物臨検没収

ロ、遭難船舶ニ對シ連合軍船舶ノ救助及遭難船等ノ管制

ハ、ライター小蒸汽等ノ徴發使用

(ニ)、海上通信管制救護

イ、入港船等通信ノ管制スルコト

ロ、海陸通信連絡ノ確實ニスルコト

(ホ)、陸上ノ警衛及救護

以上對海軍最高指揮官ノ連合ノ統一的徹底的ニ所要ノ兵ヲ要ス

武裝況スル旨報ニ及ス

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

大臣官房

横濱情報（第三戰隊司令部九月十四日）

連絡將校　曾爾大尉

一、避難民ハ漸次落ち着キタルヲ以テ之カ輸送ハ一先ツ十八日ヲ以テ終ラントス

二、港内整理着々進捗シ殊ニ流木清掃ニ関シテハ多大ノ努力ヲ拂ヒツヽアリ當局ハ之ニ関シ深甚ノ謝意ヲ表シ居レリ

三、混雜中ナリシ港務部稅関モ多摩ノ助力ニ依リ漸次旧態ニ復シツヽアリ

四、横浜海岸ハ一昨日ヨリ陸軍及當局ノ手ニヨリ点燈セリ

五、露船ハレニンニ政府ヨリ帝國領海外ニ退去ヲ命セラルヽヤ石炭二〇〇トン清水一五〇トンヲ請求セルモ種々調査ノ結果石炭一五〇トン清水八〇トンヲ支給スヘキヲ以テ之ヲ[illegible]

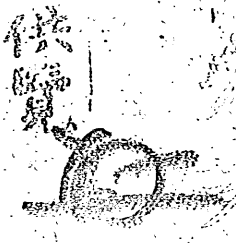
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

時ヲ以テ搭載スベキ旗艦「温順」ニ十二時出港ノ筈ニテ
逐隊主艦ヲ追跡シ東京湾ニ向ヒ津軽海峡ヲ
至テ浦塩ニ帰還スト云ヘリ又ヨリ先キ十三日夜
半全船ヨリ密ニ上陸セリトノ報傳ハ駐外軍課ヲ始メ
各方面ニ渉リ更ニ警戒ヲ厳ニシ露人ニマツワキニ宅ノ捜
索ヲナシ搭載短艇（小カッター型四隻ニシテ汽動艇
ナリ）錨地ノ関係及海上警戒網ノ状況ヨリ考ヘ上陸不可能
等調査ノ結果右ハ単ナル誇傳ニ過ギザルコト判明セリ、
尚同船乗組露國新聞記者ハ露國労働階級
ノ厚意ヲ日本労働者ニ傳ヘラレン日本ハ此天
デストラライキニ當リ天ノ使命ヲ知リ将又
将来新ヲ期スベキ時ニ非スヤト語レリト云フ。

（終）

（露国ノデストラライキニツキ人名知悉ノコトトヲヨン）

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/



大正十二年九月十九日

極秘

横須賀海軍工廠
海軍軍政本部
海軍大臣 男爵 安保清種 殿

常務取締役 東條玉太郎

震災被害第一回報告

今回ノ震災ニ依リ当社ノ海軍関係ノ工場並ニ倉庫ノ被害ハ目下ノ処詳細ニ之ヲ調査シ得サルモ今日迄ニ調査シ得タル処ニ依レハ大略左記ノ通ニシテ当社ハ猶詳細ニ亘リ追テ調査シ得次第更ニ報告スヘキモ取敢ヘス概況ヲ報告ス

記

一、本社事務所及監督官室

金 壱

二、造船部

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

イ、現図船匠工場　　金焼
ロ、造船機械工場　　約二割破損作業差支ナシ
ハ、焼鉄工場　　金焼位炉容金作業可能
ニ、山形工場　　金焼
ホ、造船仕上工場　　半焼
ヘ、船台　　約一割破損作業差支ナシ
ト、造船部事務所　　金焼

三、造機部

イ、模型工場　　金焼
ロ、工具工場　　半焼
ハ、鋳鉄工場　　約二割焼失作業可能
ニ、鋼工工場　　約五割右同
ホ、装缶工場　　被害ナシ作業差支ナシ

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

四

修理部

イ 鉄工場　　金　焼
ロ 木工場　　同
ハ 裏板工場　同
ニ 第一号材料　被害少シ
ホ 第二号材料　同
ヘ 第三号材料　一部破損
ト 落入材料　護岸破損

ヘ 艤装工場　同　左
ト 鋳物工場　同　左
チ 電気工場　同　左
リ 造機部事務所　金　焼

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

軍艦那珂損害概約報告

一、工事要目

イ、龍骨折損　大正十一年六月十四日

ロ、進水予定　大正十二年十月十日

ハ、竣工予定　大正十三年八月十二日

二、大正十二年八月末日満載重量及鉄鉄数

船体部　約　二五五〇屯

機関部　約　四三〇屯

鉄鉄数　約　七七〇〇噸

三、機関部

イ、主タルビン及減速装置　四名分　工場内　損傷ナシ

ロ、主復水器（機械室）二名　艦内管約五分ノ一換装網水圧検査

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

八、同　（後機室）二名　工場内損傷ナシ

二、軸系装置　同　同

ホ、前後機室内補機

イ、前機室　主抽気ポンプ二名、給圧油ポンプ二名
油冷却ポンプ一名、消防ビルヂポンプ一名　艦内

ロ、後機室　消防ビルヂポンプ一名　艦内

ヘ、主缶十二個　艦内　缶室上水圧検査

ト、缶室補機　金都中心商ノ多少損傷有ル模様ナレハ関壺ノ上水圧検査スルヲ要スルモノト認ム

イ、大型給水ポンプ十二名、小型給水ポンプ六名、
大型燃焼ポンプ四名、小型燃焼ポンプ二名
厚生村ポンプ一名、消防ビルヂポンプ一名

（三）

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

第二金庫内送風機四名　艦内
2. タルビン送風機　工場内　損傷ナシ
天. 諸管系
イ. 艦内積込ノ分　損傷ナシ
ロ. 工場内ノ鋼管多少ノ損傷アリ
リ. 重油噴燃器　倉庫内　全部焼損
三　官給兵器　全部無損ノ為メ安全
イ. 空気圧搾喞筒　二名
ロ. 電気兵器類収容ノモノ全部
四　航海部　添付簡書ノ通
最初地震ノ為航行ハヰールブロックヲ倒シ航進ヘ五呎左舷ヘ三呎動キ左舷ヘ約五度ノ傾斜ヲ大
其後火災ノ為ヰールブロック進水ノ全焼セル為航行ハ

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

直接被害ハ落下（別図通）形底ノビルナキールニ依リ焼損屈曲セリ

附帯ハ金杭ヲ通ジテ約二尺ノ間ヲ生ジタルモノ如シ又船内ノ一部ニモ亀裂ヲ生ジ木材ノ焼ケ

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

海軍省副官

横濱情報（九月十日第三戰隊司令部
連絡將校 曽爾大尉

一、米亜細亜艦隊「ホーキンス」以下驅逐艦八隻午後
三時出港ス

米長官ハ特別ナル友情ヲ表示シ列國艦船ニ對シ
日米親善ノ深厚ナルヲ覺知セシメンカ爲特ニ出港
ニ際シ國旗ニ對スル禮砲施行ノ件ヲ申出タルニ對
シ第三戰隊司令官ハ之ヲ受諾セラレタル結果禮砲
ノ交換ヲ行ヒ頗ル滿足ノ意ヲ表シ居タリ

二、横濱港務部長ヨリ無力ナル爲外國艦船等ニシ
テ港内勝手ニ投錨セル向キアルヲ以テ當司令部ニ
於テハ Embarcadero ノ嚴守方取締中

1052

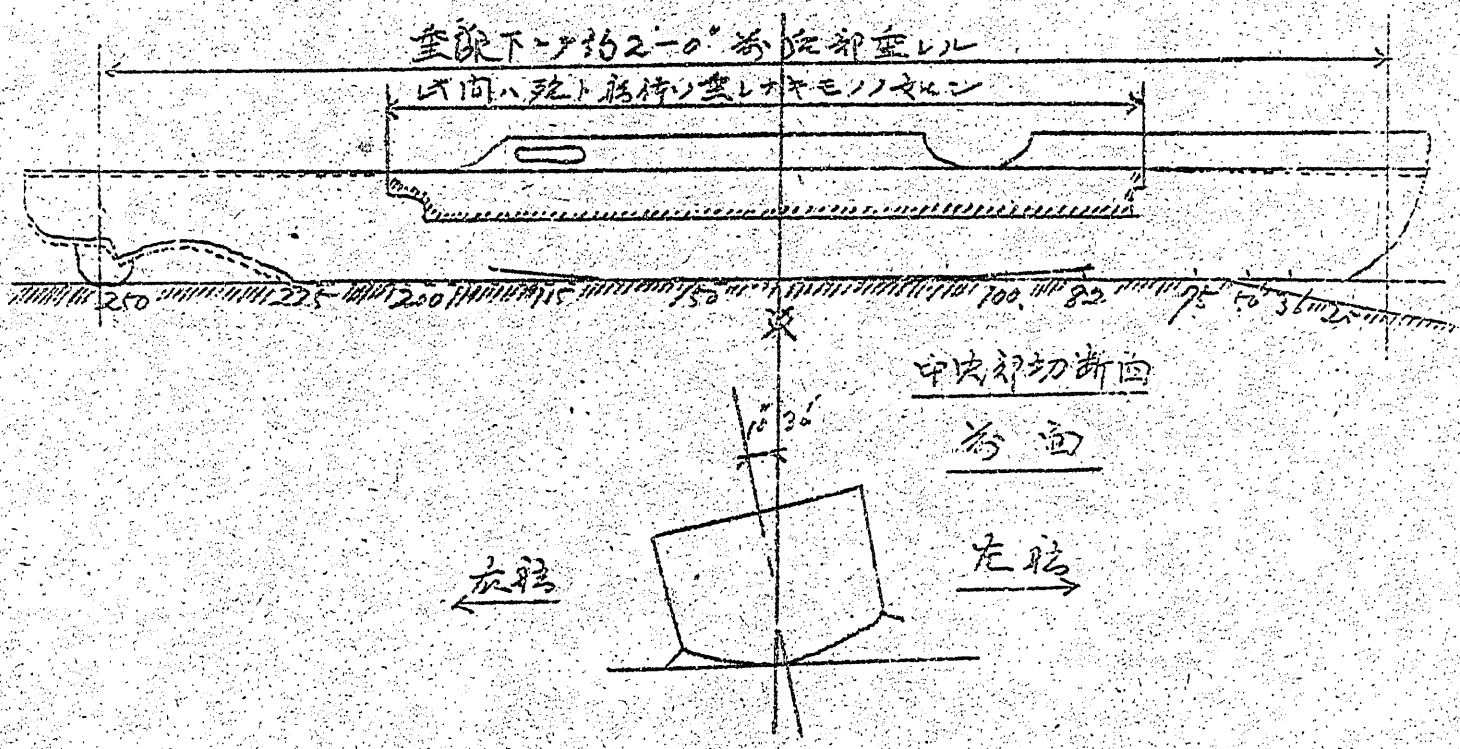
三、荷役ハ能率増進上漸次會社側ヲシテ請負ハシム

四、軍艦那珂ノタルモノ完全ナリ横濱船渠會社ニ於ケル警戒ハ陸軍ノ手ニ移レリ

五、乗船場ノ警戒及桟橋司令部附近ノ警戒モ陸兵ノ増援ニハル漸次撤退ノ豫定ナリ

(3)

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/



大正十三年九月十日

◎軍艦那珂震災被害調査（船体部）

一、第初地震ノ為船体ハヒールノタメ傾キ
左舷ハ三呎五吋、右舷ハ約五度ノ傾斜ヲ来
其ノ後火災ノ為ヒールプロペラー迄水ヲ含ミ
其ノ為船体ハ面接船台上ニ落チル（上図ノ如シ）
船底ヒール以下ハ焼損屈曲セ
船体ハ全部ニ通ジテ約二呎ノ曲リヲ生ジタルニヨリ
船内ノ各ノ主要ハ内部支柱及木材ヲ
一、外板ハ「ステーキ」以下全部"E""F"約半数及
舷側ヲ
一、二重底ハ「ステーキ」以下ハ屈曲セ
一、ロビヂ及船首、第三ロビヂ以下ハ屈曲セリ
一、機兵ノ変形セル部分アリ
一、大型鋳物、船首ハ船名ノ鋳込ミ
一、甲板ハ二重板ヲ以テ「A」「B」「C」「D」「ステーキ」ハ全部ヲ

参考

軍務局

急五第二三一号

大正十二年十月二日

呉海軍施設部第五部長

安保海軍施設部長殿

標供給施設会社建機関係震災視察

別冊ノ件

頭書ニ関シ視察ノ状況別冊ノ通

右提出ス

別冊一部添

（別冊）

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

横浜船渠株式会社造機関係震災被害視察概況（十三年九月視察）

造機所管トシテハ主要工場タル機械表鉄造各工場ハ火災ニ因ル被害軽微ナレドモ全体トシテノ損害ハ主トシテ震災ノミニ因ルモノト大略ノ状況ヲ述フ

一、機械工場

火災ヲ蒙ラズ

地震ノ為地盤ノ屈曲ヲ生ジ居レルモ甚シカラズ

起重機ノ運行ハ建物一部ノ修理ヲ行ハバ可能ナルカ如シ

工場機械ハ大部分据付直シノ必要アルヤ否ヤニ於テ破損セルモノナシ

二、表金工場

火災ノ被害ナシ

地盤ノ屈曲ヲ生ジ居レリ

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

起重機ノ運行ハ現在建物ヲ以テ可能ナリヤ疑問ナリ
他ノ調査ヲ要ス
工場機械ノ損害ハ軽微ナリ

三、鋳造工場
火災ノ被害ナシ
地盤ハ変動セザリシ
起重機ノ運行ハ建物大修理ヲ行ハサレハ困難ナラン
工場機械ハ破損セルモノアルモ被害ハ比較的容易ナリ

四、模型工場
全焼

五、鋼工場
火災ノ為メ破レリ

六、鍛錬工場

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

火災ノ為大破ヲ
工場機械ハ損害軽微ナ
ル見込
七、
家屋工場
金焼
八、
軍艦部所属機関
並ニ艦内搭載ノ一部ガ損害ヲ受ケ
主機械ハ無事ナル工場ノ建並ニ場内ニアリシ火災ヲ免レシヲ以テ
安全ナル見込
補機ノ一部ハ艦内搭載ノ為メ
損害ナキ見込

(3)

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/